

洪水ハザードマップ

保存版

【お問い合わせ先】串本町役場 総務課 TEL.0735-62-0555

<令和3年3月>

この洪水ハザードマップは、平成27年の水防法改正に伴い、和歌山県が実施した想定し得る最大規模の降雨量による古座川の浸水解析の結果を掲載しています。

このハザードマップに示す浸水想定区域は、ひとつの解析結果ですので、浸水の着色がない場所でも浸水が発生する可能性や、水深が実際の浸水深と異なる場合がありますので、十分注意してください。また、洪水以外の内水氾濫や土砂災害など、他の災害状況は考慮されておりませんのでご注意ください。

・古座川: 24時間流域総雨量 812mm

平成23年紀伊半島大水害を教訓として

平成23年8月30日から9月4日にかけ、四国に上陸し中国地方を縦断した台風12号の影響により、和歌山県南部を中心に激しい雨となり、串本町においては、特に9月2日から本降りの雨が4日まで降り続きました。古座川の上流にあたる西川地域気象観測所では、9月3日に日雨量626.0mm、翌日には最大時間雨量76.0mmの集中豪雨を記録し、観測開始以来、最大の降水量となりました。

台風が上陸してから過ぎ去るまでの9月2日から4日までの72時間雨量は、西川で1,112mm、松根で1,336mmに達し、猛烈な雨が長時間にわたって降り続けました。

この記録的な大雨によって串本町では、古座川流域の西向地区、中湊区および古座区において、古座川の氾濫によって床上浸水70件、床下浸水132件の被害が出ました。

近年、毎年のように台風や前線による記録的な大雨、暴風等が発生し、その状況は局地化、集中化、激甚化していることから、自然災害の発生に備え、日頃から「自らの命は自らが守る」という意識を持ち、早めの避難行動をとることが重要となります。

そのため、浸水するおそれがある区域をこのハザードマップで確認していただくとともに、平成23年紀伊半島大水害を教訓として、河川水位が上昇前であっても、以下の場合にも洪水が発生するおそれがありますので、避難行動の備えをしてください。

○古座川町西川(アメダス)において、1時間雨量が120mmを超えた場合

○西川(アメダス)において、連続雨量が700mmを超えた場合

○古座川町において、線状降水帯が確認され、記録的短時間大雨情報が発令された場合

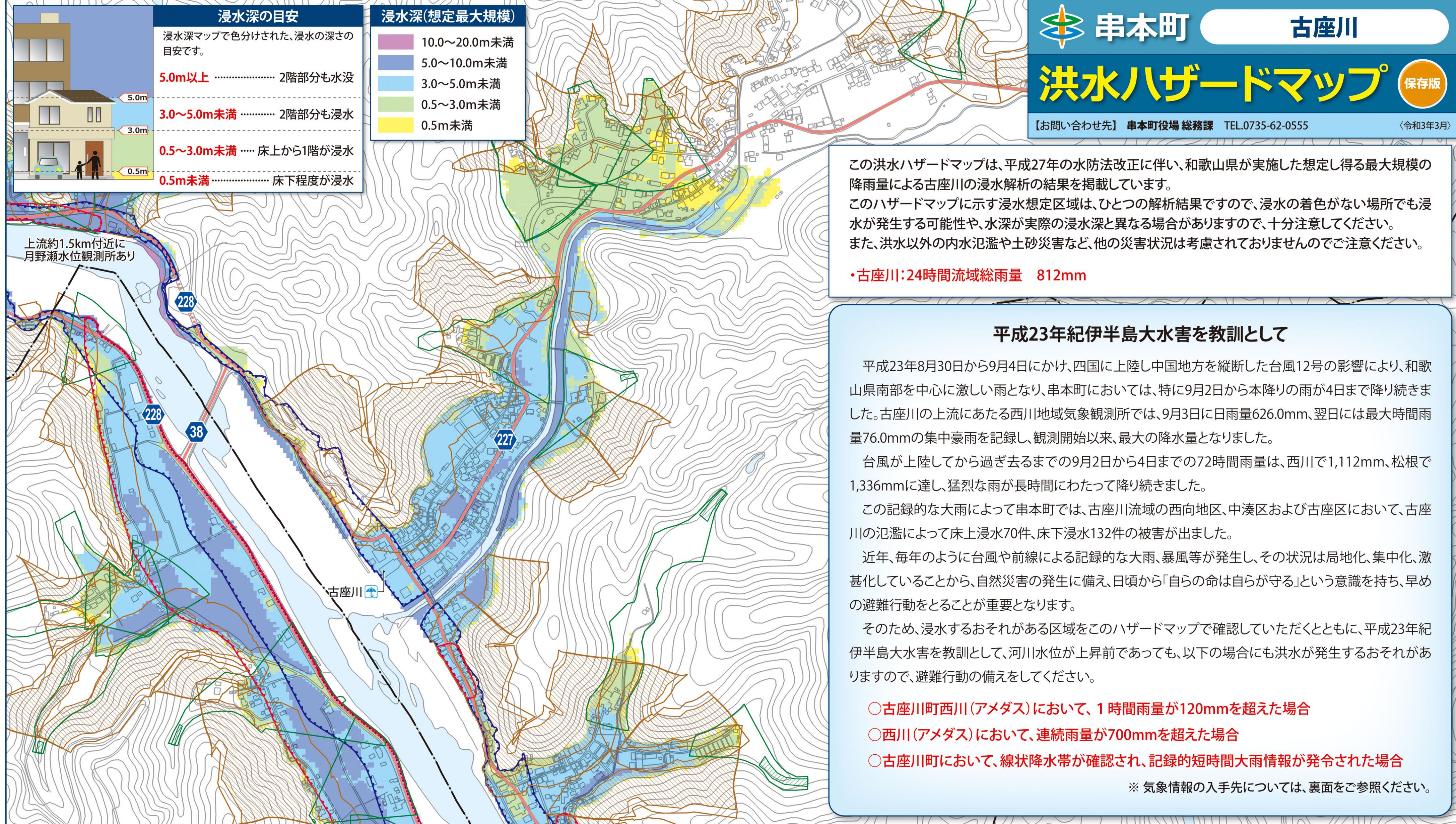
※気象情報の入手先については、裏面をご参照ください。



浸水深(想定最大規模)

- 10.0~20.0m未満
- 5.0~10.0m未満
- 3.0~5.0m未満
- 0.5~3.0m未満
- 0.5m未満

上流約1.5km付近に
月野瀬水位観測所あり



土砂災害警戒区域等

かけ崩れ(急傾斜地の崩壊)
特別警戒区域

土石流
特別警戒区域

● 土砂災害警戒区域

土砂災害により、住民の生命または身体に危害が生じるおそれのある区域

● 土砂災害特別警戒区域

土砂災害により、建物が破壊され、住民の生命または身体に著しい危害が生じるおそれのある区域

※危険性があっても、住宅等がなければ区域に指定されていません。

※正確な区域は和歌山県の公示図書をご確認ください。

家屋倒壊等氾濫想定区域

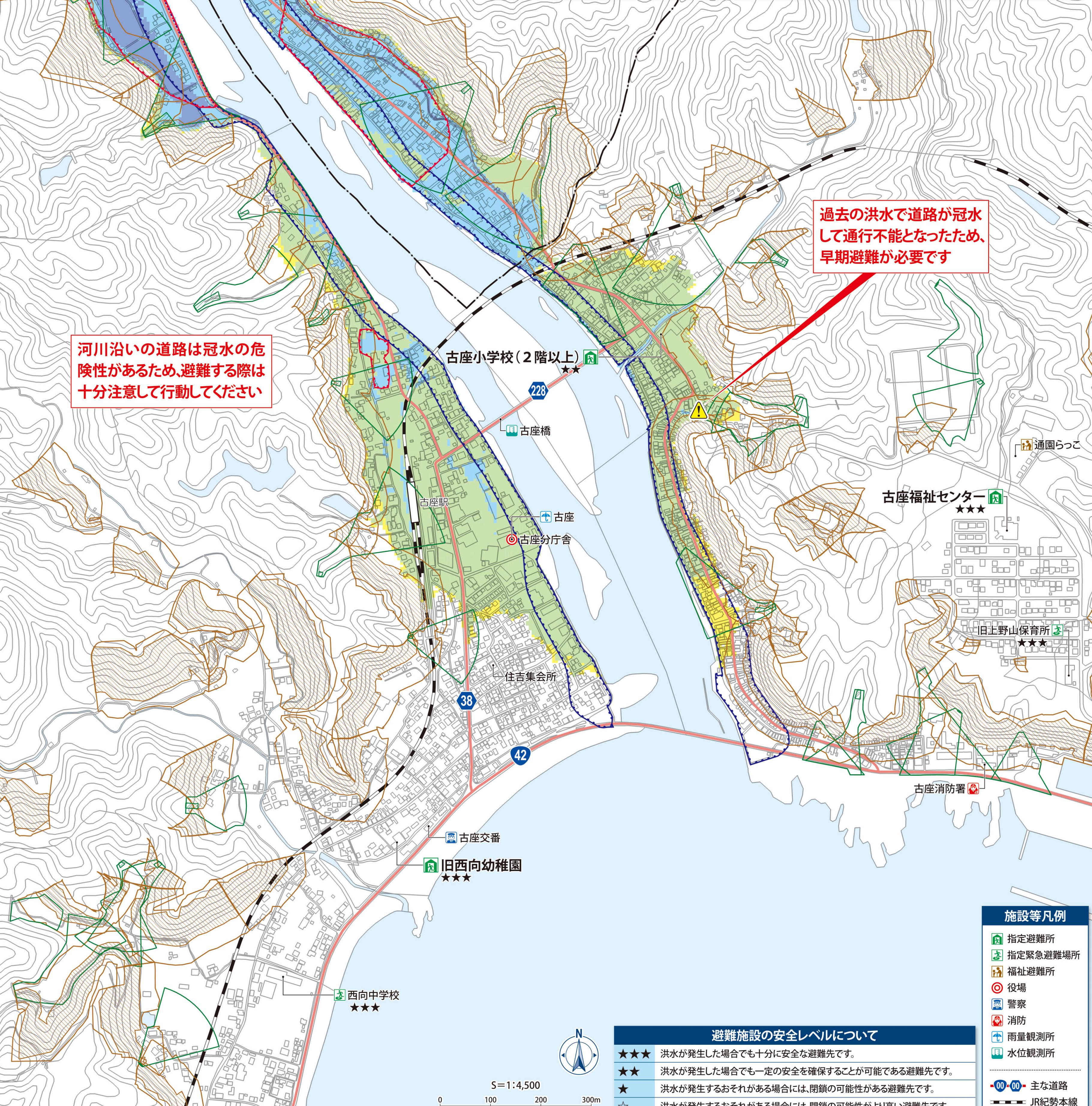
河川の氾濫や河岸浸食により家屋の倒壊・流出等の危険性がある区域の目安を示すものです。

※早期の立ち退き避難が必要な区域です。

■ 河岸侵食 ■ 泛濫流

河川沿いの道路は冠水の危険性があるため、避難する際は十分注意して行動してください

過去の洪水で道路が冠水して通行不能となつたため、早期避難が必要です



施設等凡例

- 指定避難所
- 指定緊急避難場所
- 福祉避難所
- 役場
- 警察
- 消防
- 雨量観測所
- 水位観測所
- 主な道路
- JR紀勢本線

避難施設の安全レベルについて

★★★ 洪水が発生した場合でも十分に安全な避難先です。

★★ 洪水が発生した場合でも一定の安全を確保することが可能である避難先です。

★ 洪水が発生するおそれがある場合には、閉鎖の可能性がある避難先です。

☆ 洪水が発生するおそれがある場合には、閉鎖の可能性がより高い避難先です。